

# JavaプログラミングのTip集

## 第11回

2008年1月28日  
アイティエス

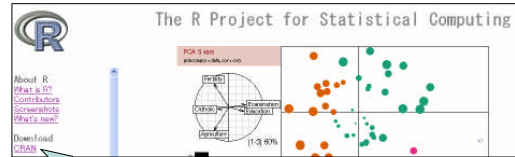


## 最新Rをインストールする

(version "R-2.6.1-win32")

<http://www.r-project.org/>

の「Download CRAN」を指定する



「CRAN」をクリック



## ミラーサイトを指定する

- 会津大学、東京大学、筑波大学を指定できるがここではちょっと便利な筑波大学を選択する

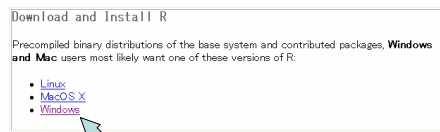
Japan  
<ftp://ftp.u-aizu.ac.jp/pub/lang/R/CRAN/> University of Aizu  
<ftp://ftp.ecc.u-tokyo.ac.jp/CRAN/> University of Tokyo  
<http://cran.md.tsukuba.ac.jp/> University of Tsukuba

「筑波大学」をクリック



## 使用OSを決める

- Linux、MacOS X、Windowsの中からここではWindowsを指定する

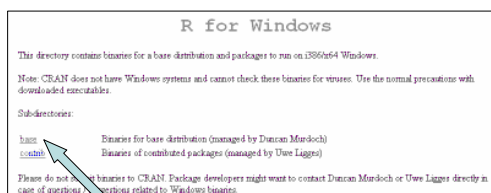


「Windows」をクリック



## base distributionを使う

- 「base」を指定する

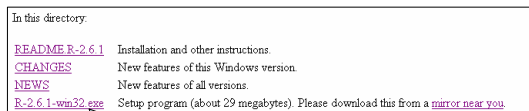


「base」をクリック



## ダウンロードを実施する

- 29.2MBあるR-2.6.1-win32.exeをダウンロードする

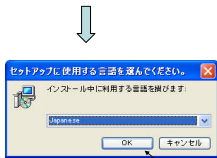


「R-2.6.1-win32.exe」をクリック



## Rセットアップ

R-2.6.1-win32.exeをダブルクリックしてセットアップを開始する



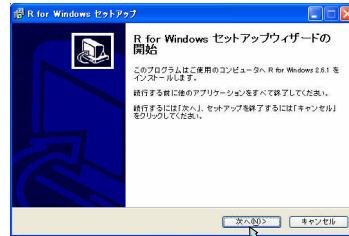
「OK」をクリック

●日本語でRインストール



## セットアップウィザードでインストール

- 魔法使いに助けられながらインストール作業をすすめる

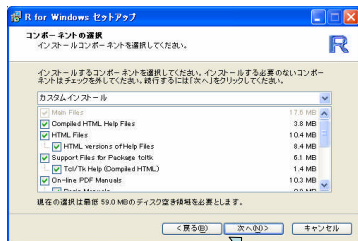


「次へ」をクリック



## コンポーネントを選択する

- インストールするコンポーネントを決める



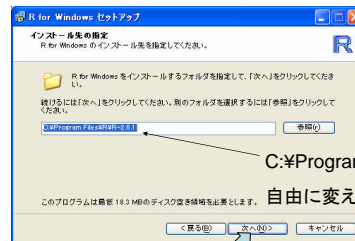
容量に余力があるのなら全部インストールの方向で考える

「次へ」をクリック



## インストール先を指定する

- C:\Program Files¥R¥R-2.6.1にインストールする



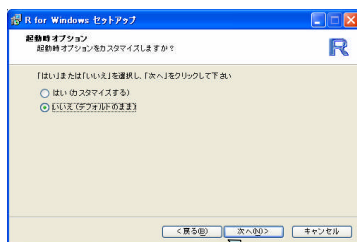
C:\Program Files¥R¥R-2.6.1  
自由に変えることもできる

「次へ」をクリック



## 起動オプションを指定する

- ここではデフォルトのままにする

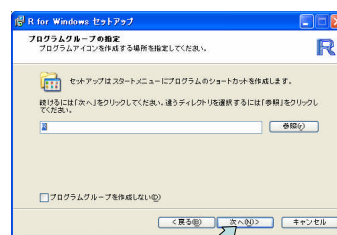


「次へ」をクリック



## ショートカット作成場所を指定する

- スタートメニューにショートカットが作成される

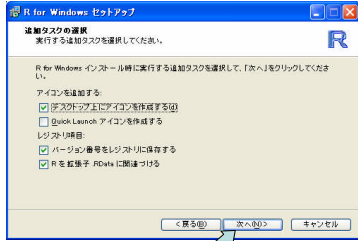


「次へ」をクリック



## 起動タスクを選択する

- 最初はデフォルトのままよい

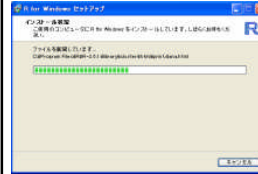


「次へ」をクリック

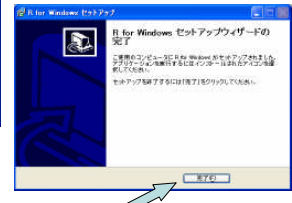


## インストール中

- インストールが終わるまで少し待つ



## インストール完了

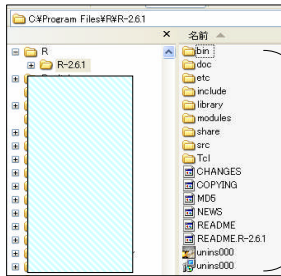


「完了」をクリック



## インストール内容を見る

- C:\Program Files\R\R-2.6.1にインストールされたファイル構成である

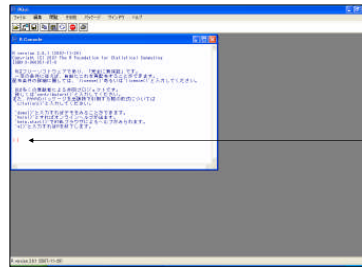


作成されたフォルダ、ファイル



## Rを起動してみる

- GUI画面が現れる

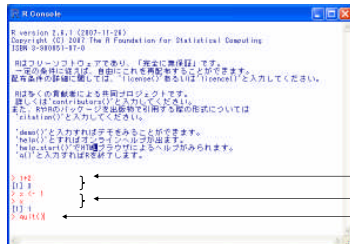


赤色のプロンプト(>)以降にコマンドを入力して使う



## コマンドを使う

- 1+2で「Enter」キー → 答えが表示される①
- 変数xに値をセットして変数xの内容をはき出す②



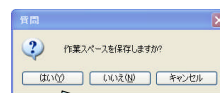
①  
②  
終了コマンドquit()

分析する外部ファイルを読み込んだり、いろいろなシミュレーションが実施できる



## R終了処理

- 「作業スペース」を保存するかどうかを選択する



作業内容を保存したい場合は「はい」をクリック

Rは計算、分析、シミュレーションに使えるツール  
例：世の中にある変数間の相関関係を分析して共通因子を推定する因子分析に用いられる・・・詳細は別途取り上げる予定

